

(1) 人身事故減少に向けた取り組みの実施

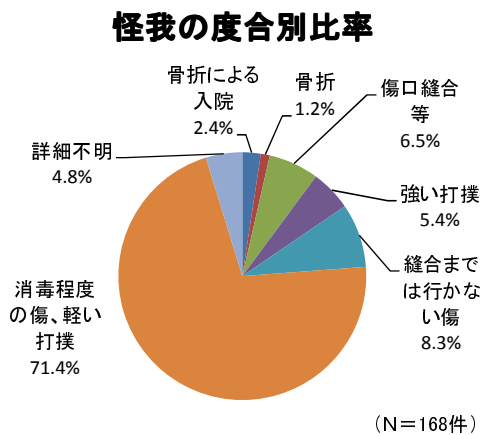
天然記念物奈良のシカの生息範囲、特にA地区では、昭和46年(1971)以降、奈良のシカが起こしている人身事故は減少傾向にあるが、シカの人馴れが進み、人とシカの距離がより縮まりつつあるなかで、骨折で入院治療が必要となるような深刻な人身事故も発生している。

奈良のシカ保護管理計画検討委員会において十分に議論を深め具体の保護管理対策を構築していく一方で、人身事故を未然に防いでいくことは、緊急を要する課題として実情に応じた迅速な対応が必要となっている。

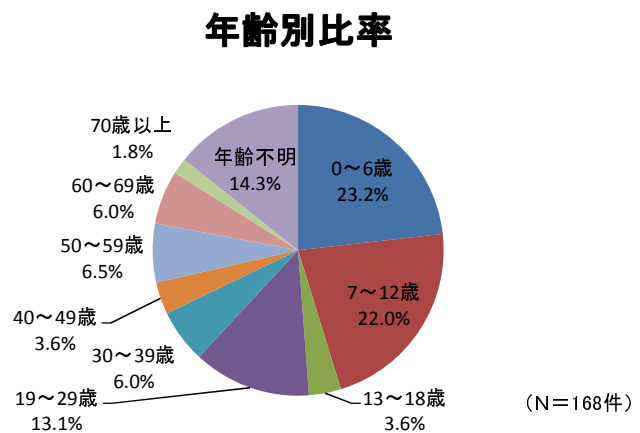
このため、天然記念物奈良のシカを保護管理しつつ、人身事故軽減の具体策を検討する。

検討・実施事項：●人身事故発生防止に向けた注意喚起等の具体策

「平成22年度～平成25年度(H26 2/8 まで) 人身事故発生状況」



出典：奈良公園のシカ相談室資料



(2) 人身事故減少に関するワーキンググループによる検討

天然記念物奈良のシカによる人身事故の発生を未然に防止するためには、①事故発生確率が高い箇所の分布状況を踏まえつつ、②近年増加している外国人観光客を含めた観光客が情報を入手しやすい媒体や方法を積極的に取り入れ、③注意喚起を目的とした現状の取り組みの向上等の即効性のある対策を検討することが必要である。

特に人身事故多発箇所については、その発生原因を踏まえ重点的に対策を講じる必要がある。

このため、人身事故減少に関するワーキンググループを設置して、上記の項目に精通した有識者や関係者を交えながら、効果的かつ効率的な人身事故対策を検討することとする。

なお、ワーキンググループの検討成果については、適宜、奈良のシカ保護管理計画検討委員会に諮ることとする。

